



2009年3月期 第2四半期決算 説明会資料

2008年12月4日
ディービーエックス株式会社
(証券コード:3079 JASDAQ)



会社プロフィール

- 社 名 ディービーエックス株式会社 (DVx Inc.)
- 所 在 地 東京都豊島区高田二丁目17番22号
- 代 表 者 代表取締役社長 若林 誠
- 営 業 拠 点 国内10拠点 (2008.10.1開設の横浜南営業所を含む)
- 従 業 員 数 139名 (2008年9月末現在)

沿革

- 1986年 心臓ペースメーカー販売とフォローアップ業務を目的として、(株)ヘルツを設立
- 1992年 不整脈分野の商品「心臓電気生理検査用機器」の輸入販売を開始
- 1997年 自社商品拡大のため医療機器輸入会社(有)シー・エム・アイジャパンを子会社化
(株式会社に改組後、ディービーエックスジャパン(株)に商号変更)
- 2000年 虚血分野の商品「自動造影剤注入装置」の輸入販売を開始
- 2004年 ディービーエックスジャパン(株)を吸収合併
(株)ヘルツからディービーエックス(株)に商号変更
- 2007年 ジャスダック証券取引所に株式上場
東北営業所・群馬営業所・八王子営業所を開設。全国8拠点体制を構築。
- 2008年 「エキシマレーザ心内リード抜去システム」の薬事承認を取得

当社の主要商品

DVxは、“循環器分野”に特化した医療機器販売会社

不整脈事業

電極カテーテル
(心臓電気生理検査用)



電極カテーテル
(アブレーション用)



ICD
(植込み型自動除細動器)



心臓ペースメーカー



虚血事業

自動造影剤注入装置
「ACIST」



エキシマレーザ
血管形成システム



PTCAカテーテル



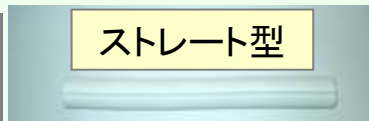
研究開発中

人工血管

Y字型

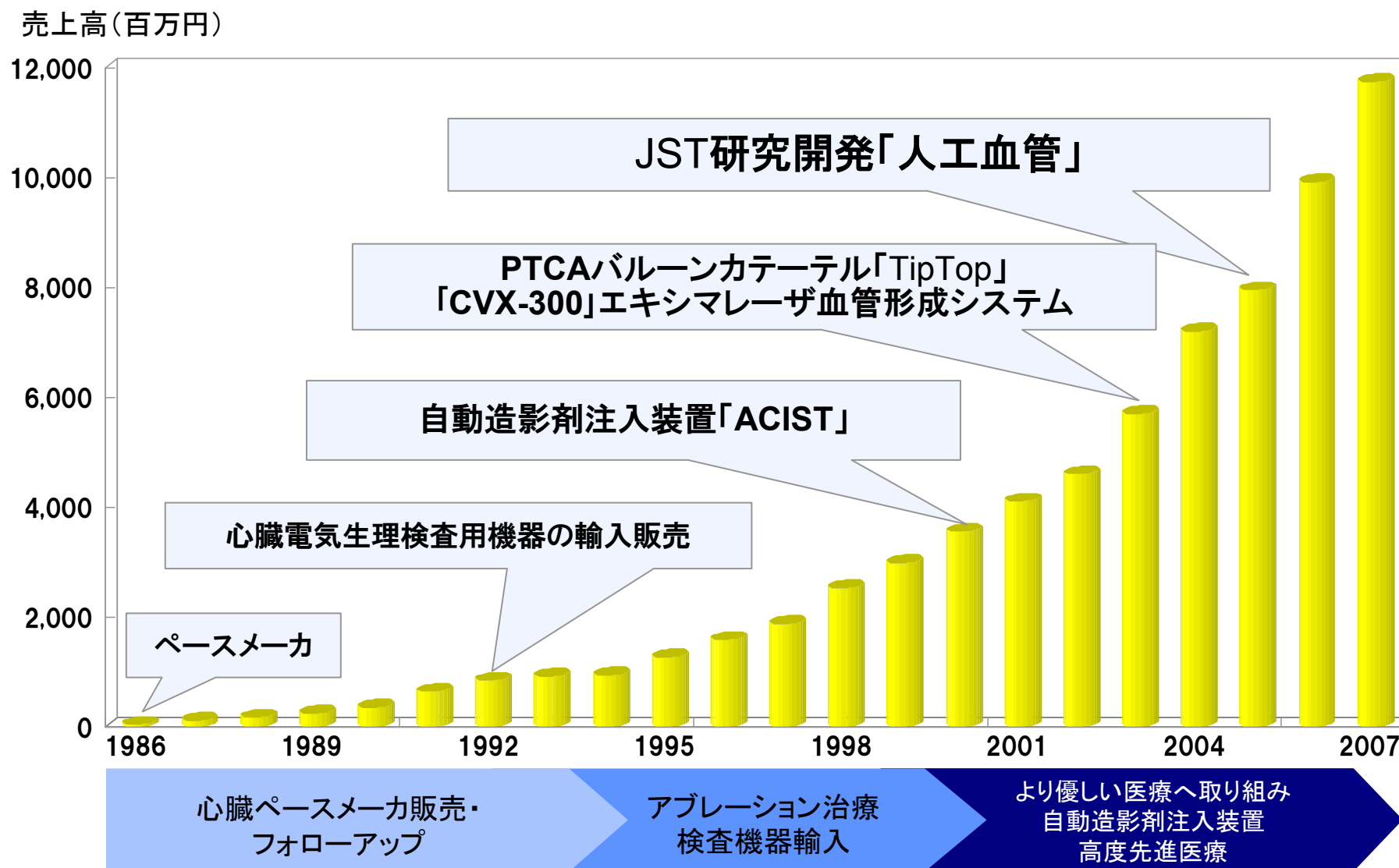


ストレート型



当社の強み

ニーズを先取りして、高付加価値サービスを開拓



I 決算(実績と予想)

II トピックス

III 補足資料(当社事業の特色)

09/3期 第2四半期決算のポイント

09/3期 上期決算(累計)

Point: 営業利益は期初予想クリア、前年比102.3%

•売上高は期初予想比95.1%。不整脈事業が健闘(期初予想比97.2%)

09/3期 通期業績予想

**Point: 売上成長を持続させ、
前年実績以上の営業利益の確保を目指す**

～ 期初予想を変更せず～

•売上高: 前年比113.8%、営業利益: 同100.1%(09/3通期業績予想)

09/3期 第2四半期決算概況(累計)

(百万円、%)

	08/3上期	09/3上期			期初予想
			前年比	期初予想比	
売上高	5,595	6,247	111.6	95.1	6,568
不整脈事業	4,891	5,390	110.2	97.2	5,547
虚血事業	689	850	123.2	84.6	1,006
売上総利益	1,184	1,277	107.9	-	-
営業利益	163	167	102.3	100.9	166
経常利益	138	198	143.4	123.3	161
四半期純利益	78	111	142.7	127.1	88

•売上高は前年比111.6%、+651百万円の増加。

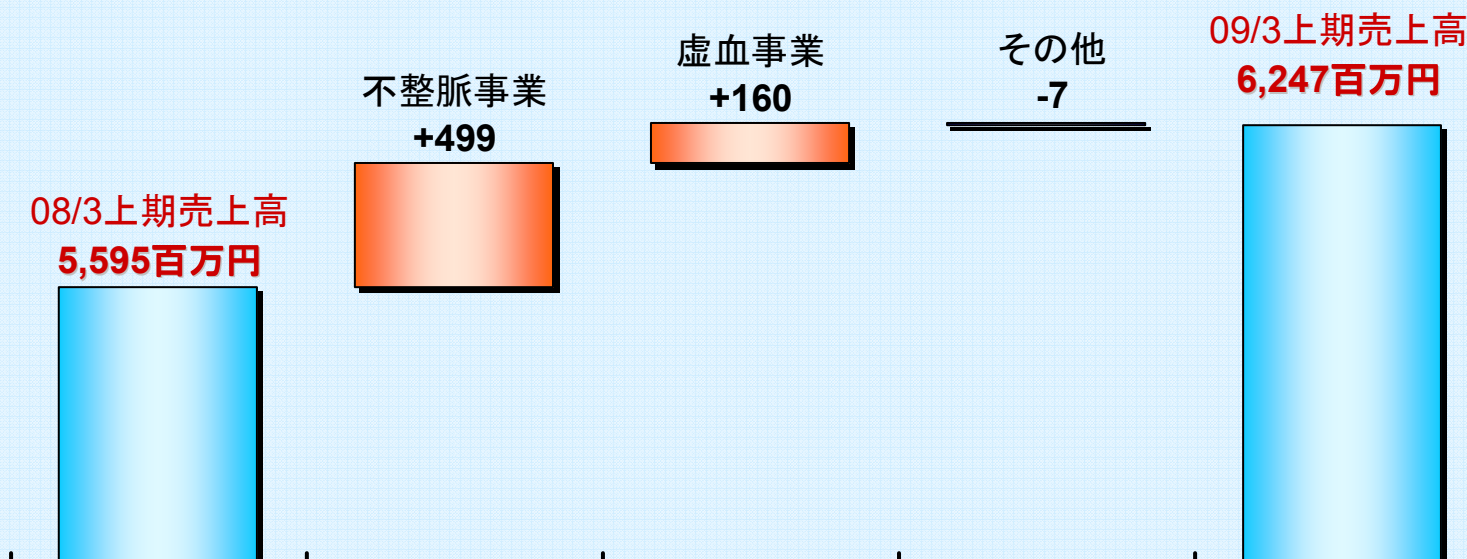
✓不整脈事業(+499百万円)が牽引。虚血事業は期初予想を下回るが拡大。

•営業利益は前年比102.3%、経常利益は同143.4%。

✓営業外収益として、デリバティブ評価益27百万円などを計上。

09/3期 第2四半期売上高の増減内訳

事業区分別の売上増減内訳(百万円)



・不整脈事業の売上増減要因(前年比+499百万円)

- ✓ICD関連、電極カテーテル関連の増加が牽引。
- ✓PM関連は減少(保険償還価格改定の影響を補えず)。

・虚血事業の売上増減要因(前年比+160百万円)

- ✓ACIST関連(ディスプレイザブルキット類)の増加が貢献。

09/3期 通期業績予想

(百万円、%)

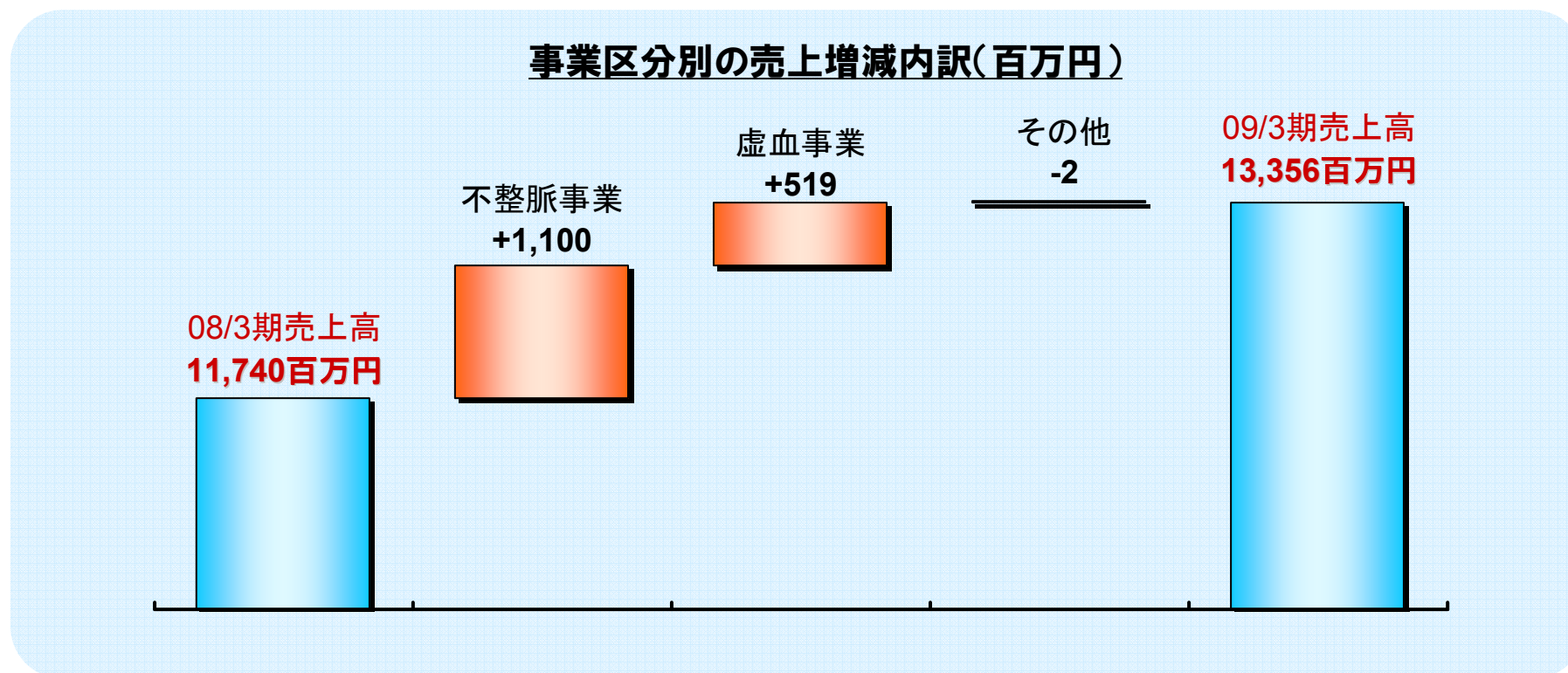
	08/3通期	09/3通期	前年比
売上高	11,740	13,356	113.8
不整脈事業	10,167	11,267	110.8
虚血事業	1,545	2,064	133.6
その他	27	25	92.6
営業利益	459	460	100.1
経常利益	420	450	107.2
当期純利益	236	245	103.7

•売上成長を持続させ、前年度以上の利益確保を目指す。

✓売上増加の内訳: 不整脈事業で前年比110.2%、虚血事業で同133.6%。

✓営業利益: 前年比100.1%、経常利益: 同107.2%。

09/3期 通期売上予想の増減内訳



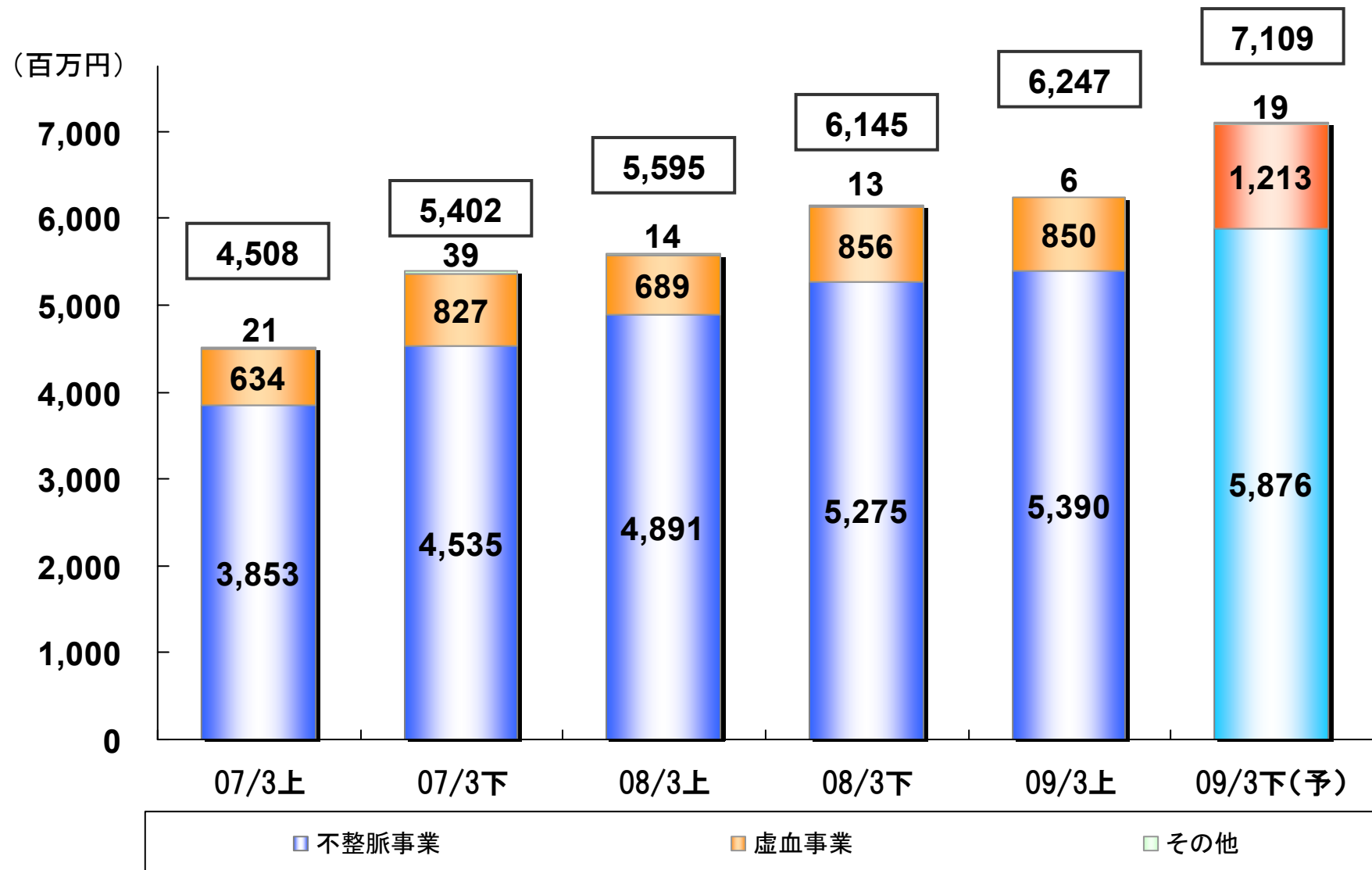
・不整脈事業の売上増減要因(前年比+1,100百万円)

- ✓ICD関連、電極カテーテルの売上増加傾向の持続
- ✓PM関連の下期からの売上回復(前年同期比)

・虚血事業の売上増減要因(前年比+519百万円)

- ✓年度末にかけての機器類の売上増加

09/3期 下期売上予想と過去の実績

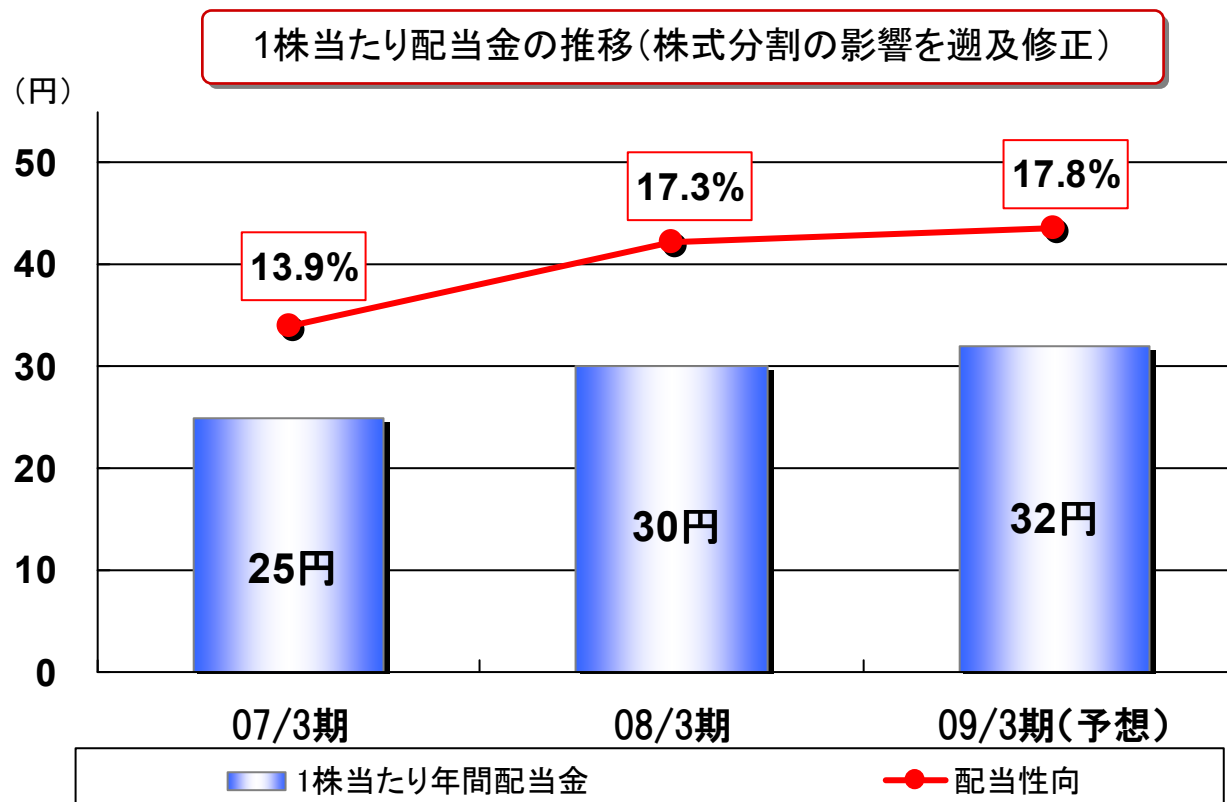


株主還元の方針(09/3期)

1株当たり年間配当金(予想)は32円。実質増配。

	07/3期	08/3期	09/3期(予想)
1株当たり配当金	50.00	60.00	32.00
1株当たり当期純利益	360.35	354.35	179.87

2008年4月1日を効力発生日として1:2の株式分割を実施



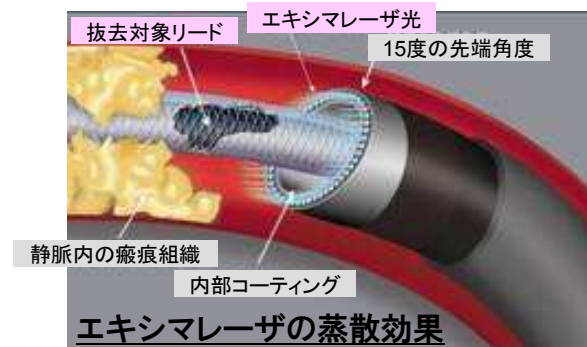
I 決算(実績と予想)

II トピックス

III 補足資料(当社事業の特色)

「エキシマレーザ心内リード拔去システム」の薬事承認取得

エキシマレーザ血管形成装置



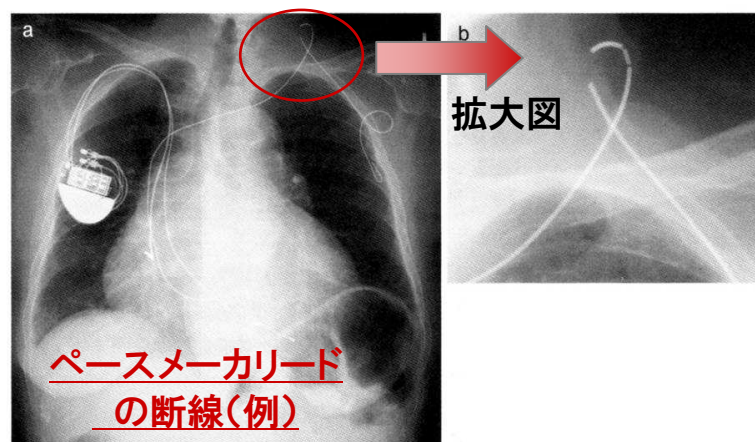
冠動脈形成

2008年7月1日 薬事承認取得

心内リード拔去

末梢血管形成

植込み型ペースメーカー及び植込み型除細動器の
リード線の低侵襲拔去



「エキシマレーザ心内リード抜去システム」のポテンシャル

リード抜去の潜在需要:年間1,500件以上(当社推計)、増加傾向を予想

■PM/ICDによる治療の現状から推計されるリード抜去の潜在需要

	米国・欧州	日本
① PM/ICDの総患者数	800万人	30万人
② PM/ICDの新患者数(年間)	80万人	5万人
③ 感染等によるリード不全発症の割合	3%	3%
④ リード抜去の年間需要(=②×③)	24,000人	1,500人

・ICD植込み患者の増加を想定・考慮
(感染の確率:ICD>PM)

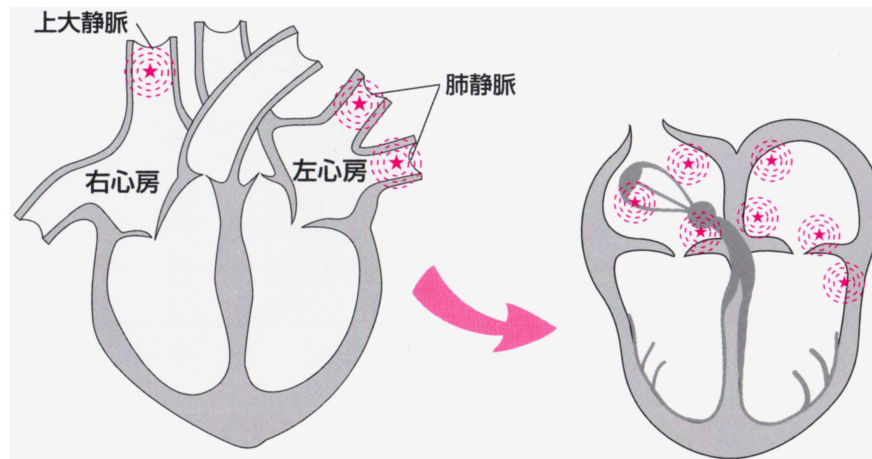


年間2,000人程度

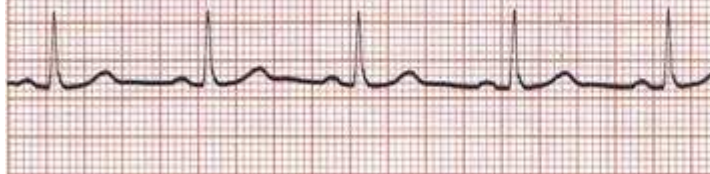
心房細動のアブレーション治療

難易度の高い「心房細動」において、アブレーション治療が増加中

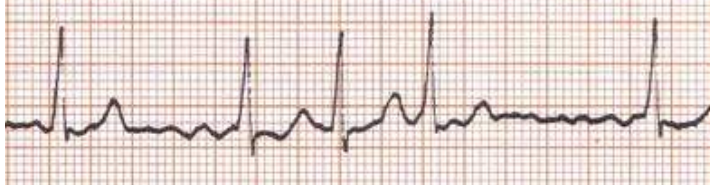
■心房細動のメカニズム



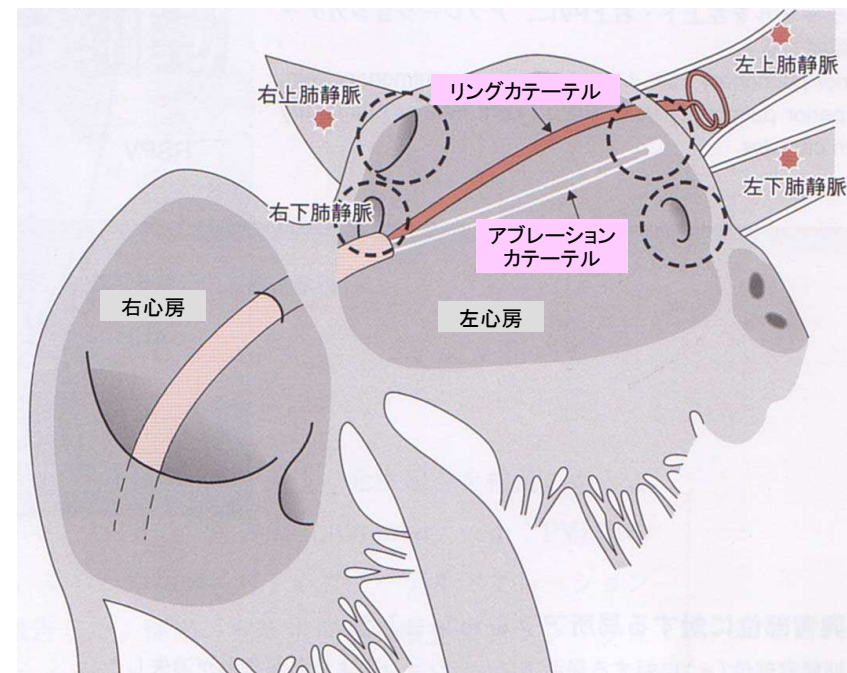
正常時(A)の心電図・・・71bpm



心房細動時(B)の心電図・・・50～140bpm



■心房細動のアブレーション治療



アブレーション治療増加のポイント

- Point①: 心房細動のメカニズム解明
- Point②: アブレーション手技の改良
- Point③: アブレーション手技の普及

「心房細動アブレーション治療」のポテンシャル

心房細動の治療ニーズの増加、アブレーション治療の更なる増加を予想

①	65歳以上の人口（2005年 国勢調査）	2,682万人
②	推計患者数（2005年 日循疫学調査）	71.6万人

2005年の推定罹患率は2.67%（＝②÷①）
2025年にかけて65歳以上の人口は増加し、
3,600万人に達する（国立社会保障・人口問題研究所推計）

患者数は更に増加（71万人～）

アブレーション治療

薬剤による治療

（参考）TOP40医療機関の治療実績数

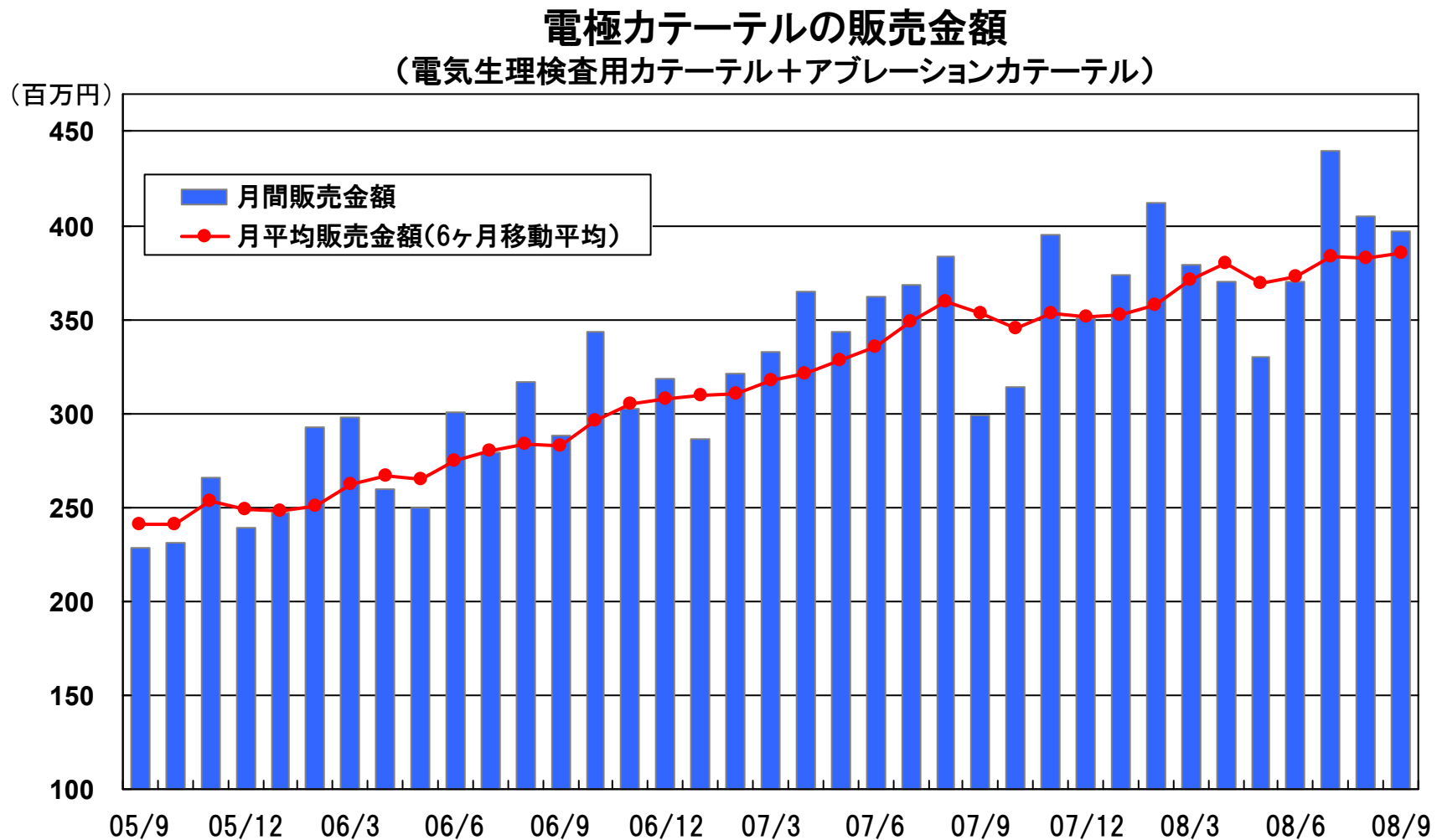
治療実績（2006年総数）	8,562件
内、心房細動	2,783件
割合	32.5%

（参考）アブレーション治療総数（全国）

・・・およそ22,000件（2006年）

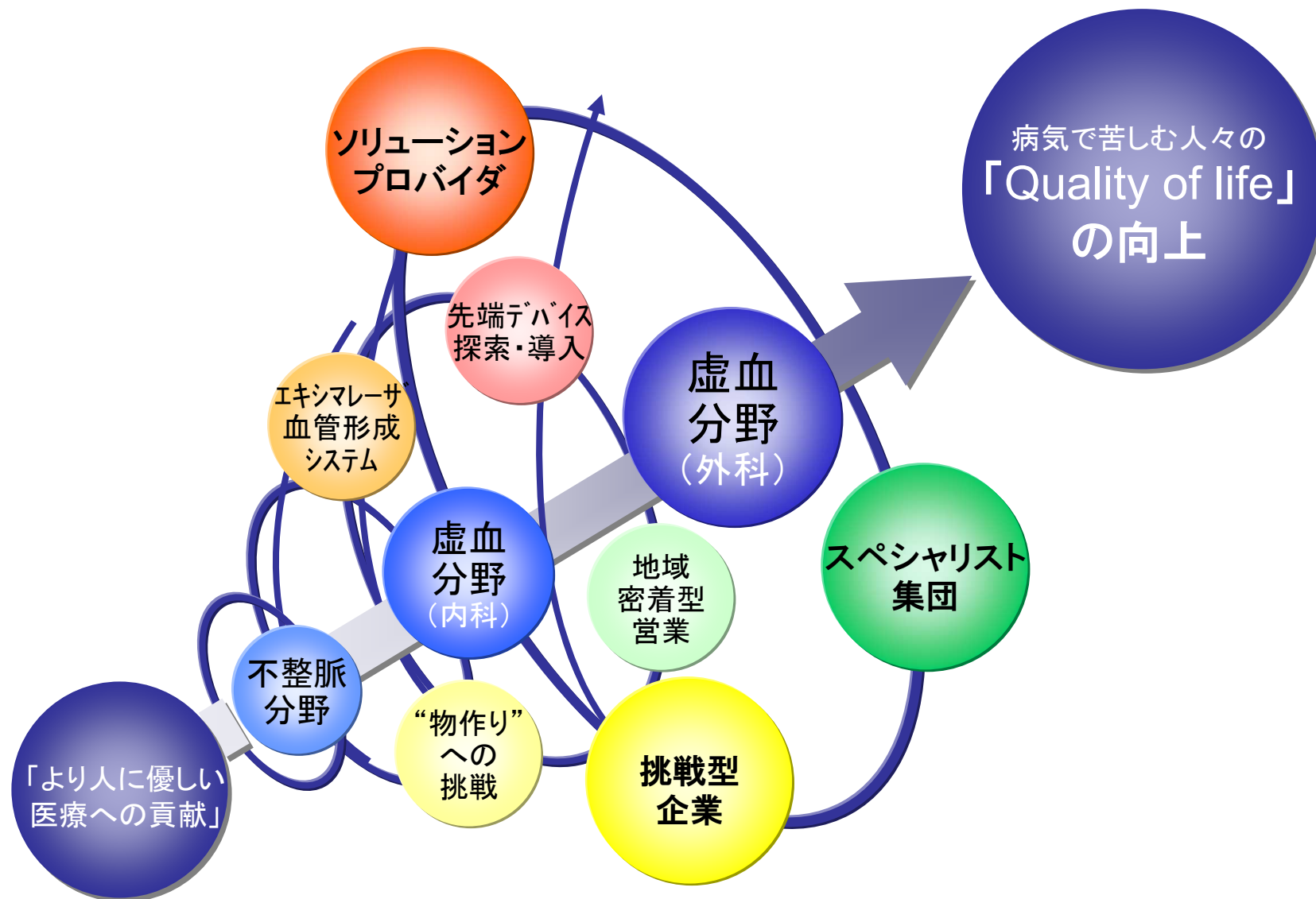
電極カテーテル販売実績

アブレーション治療の増加を背景に、電極カテーテルの販売は増加傾向



循環器専門に発展を目指す“スペシャリスト集団”

医療現場に携わる企業としての使命を果たし、企業発展を実現





**Development
Venture**

xー「未知数」「無限の可能性」

ディーブイエックス株式会社 (DVx Inc.)

本資料における注記事項

- ◆ 本資料は投資家の参考に資するため、ディービエックス株式会社(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。
- ◆ 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

- ◆ 本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先

IR・広報室長 田島 恵美子 TEL:03-5985-6827 FAX:03-5985-6106

URL <http://www.dvx.jp/>

I 決算(実績と予想)

II トピックス

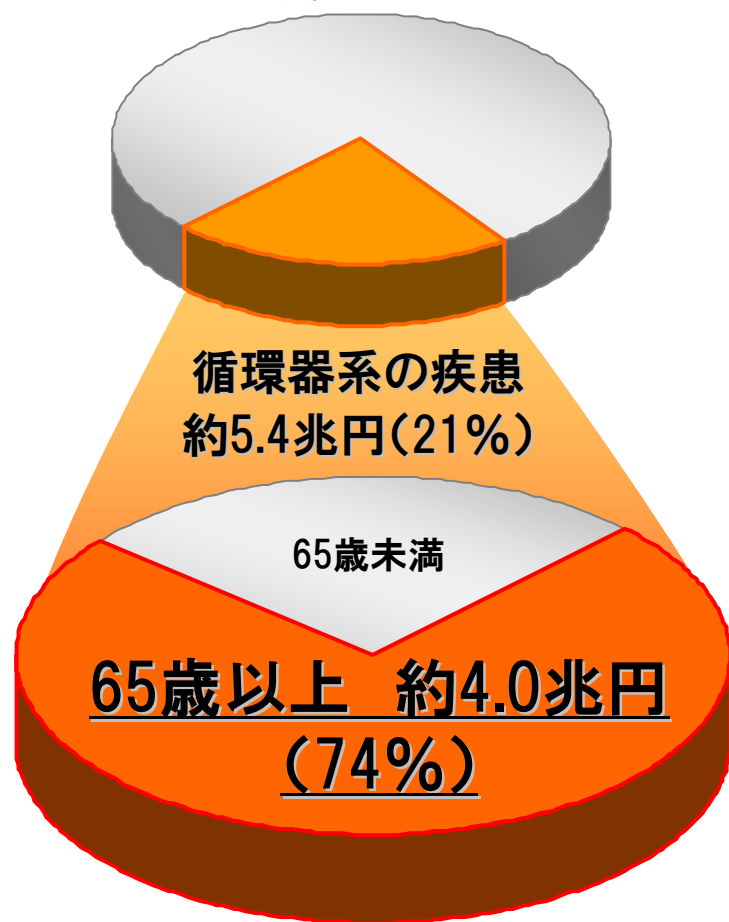
III 補足資料(当社事業の特色)

循環器分野の特徴

当社が得意とする“循環器分野”は巨大な成長市場

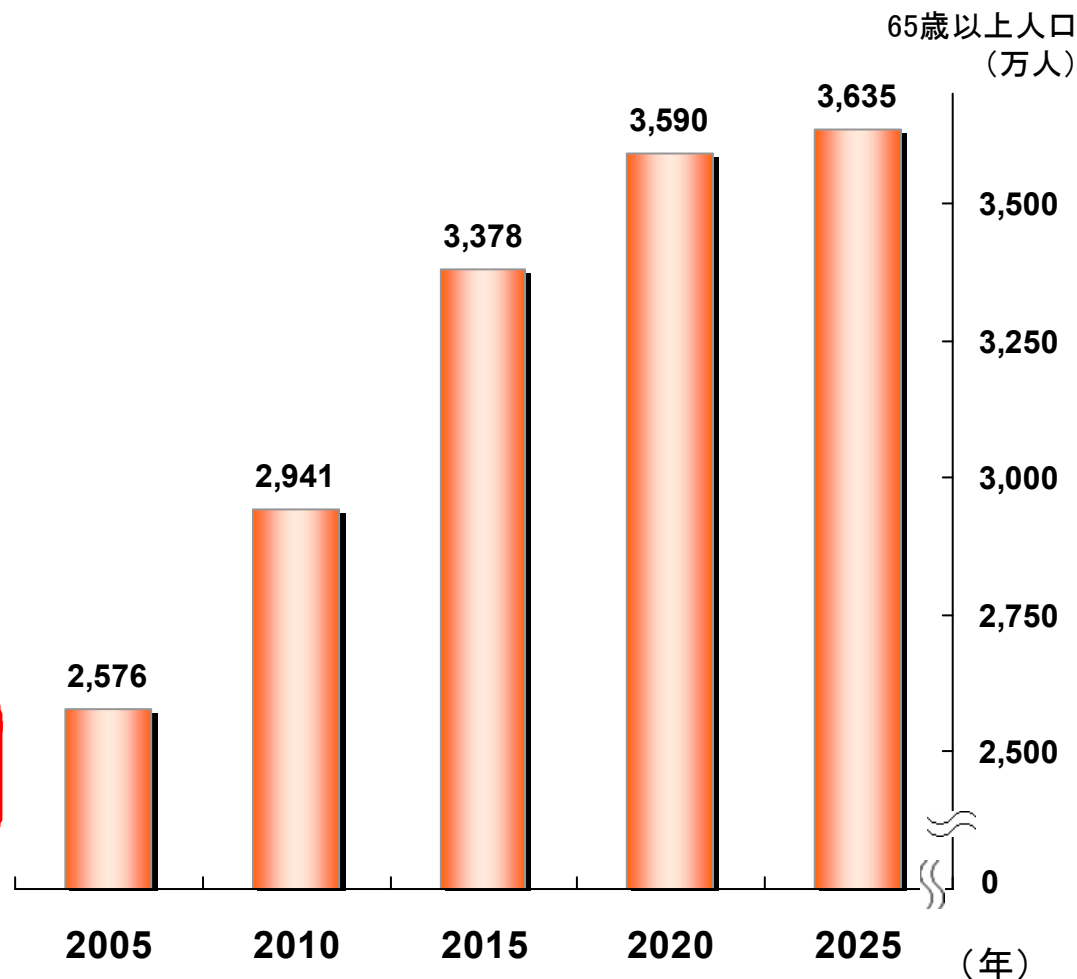
循環器系の疾患の「特徴」

国民医療費:推計約25兆円



資料:厚生労働省「国民医療費の概況」(2005年度)

65歳以上の将来推計人口

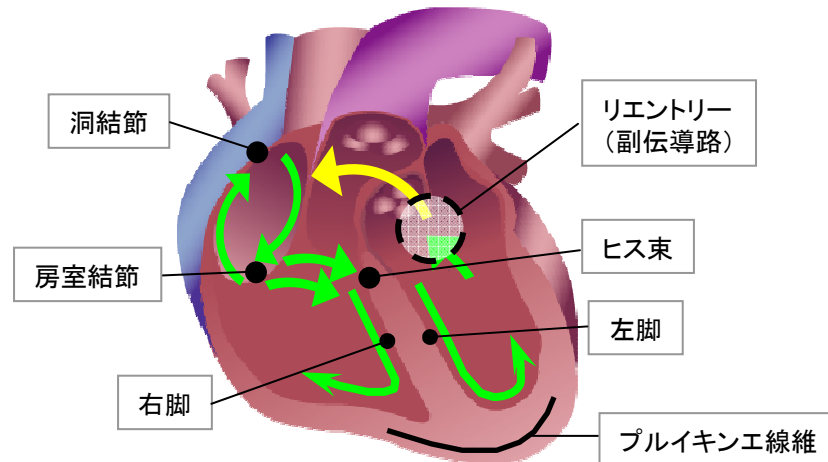


資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2006年12月推計)
出生中位(死亡中位)推計を使用。

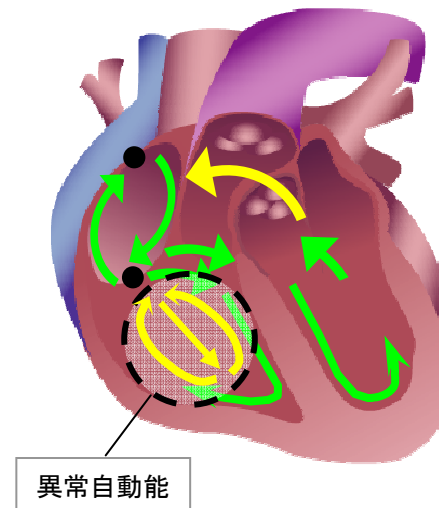
頻脈の根治療法として開発「心筋焼灼術(アブレーション)」

■ 頻脈のメカニズム

例1. リエントリーによる頻脈



例2. 異常自動能による頻脈

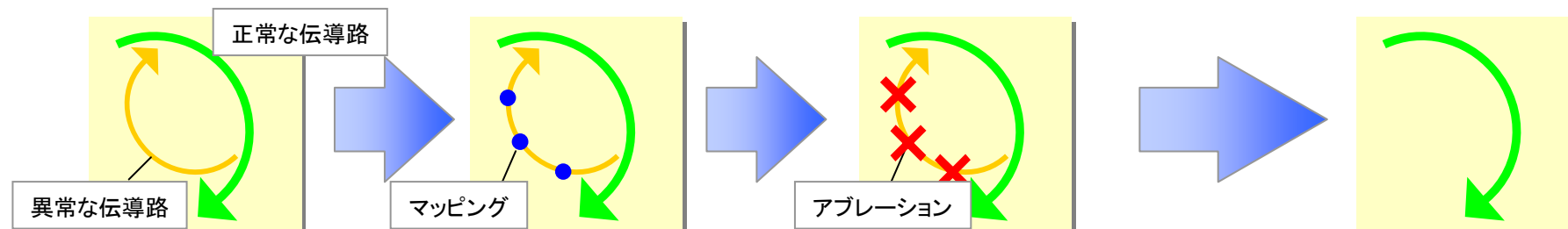


■ 心筋焼灼術(アブレーション治療)の手順

電気生理検査による
異常部位の特定

焼灼部位の特定

高周波エネルギーを通電、
異常部位を焼灼



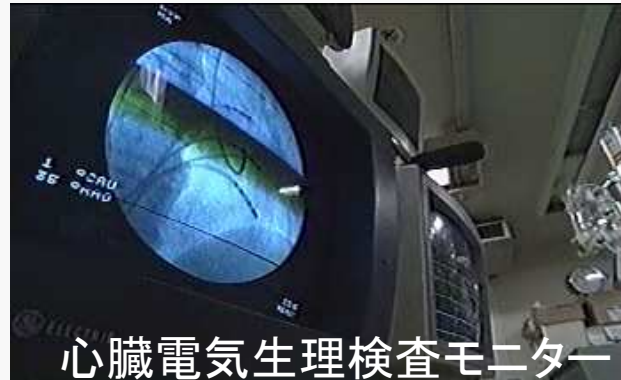
■ 手技の改良が進み、心房細動の根治療法としても利用

不整脈事業:頻脈の治療で活躍する当社商品

心臓電気生理検査



①電極カテーテル



心臓電気生理検査モニター

アブレーション治療



②アブレーションカテーテル

さらに

ICDの植込みによる治療



③ICD(植込み型除細動器)

虚血事業：血管の狭窄・閉塞の診断で活躍する当社商品

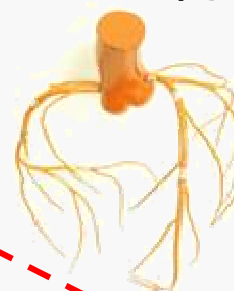
ACIST・専用キット：患者に優しく、血管の狭窄・閉塞の正確な診断に貢献



ACISTを使った検査



心臓血管の
イメージ図



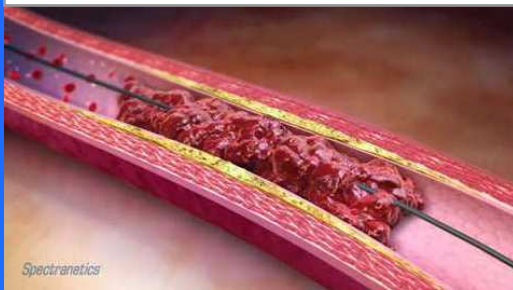
「ACIST」による血管造影



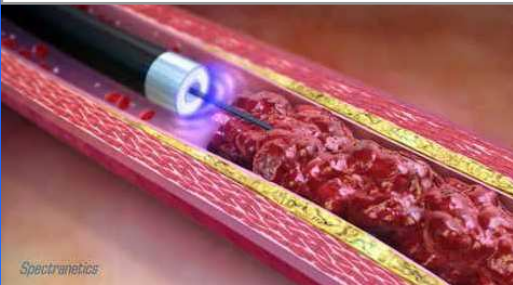
虚血事業：新医療デバイス「エキシマレーザー血管形成システム」

再狭窄対処、ペーシングリード抜去、末梢血管形成が可能な新医療デバイス

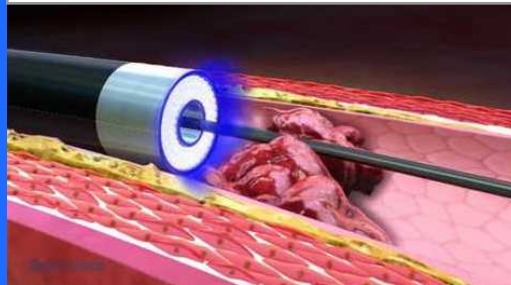
病変部へガイドワイヤーを通す



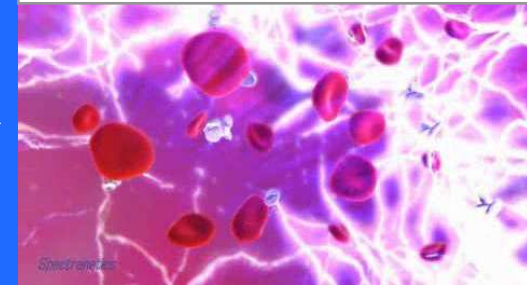
レーザーカテーテルを入れる



病変部へレーザーを照射



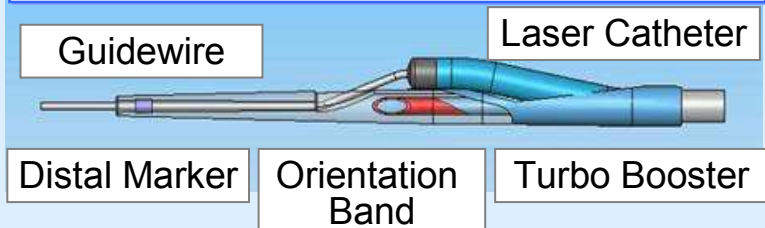
病変部が蒸散



エキシマレーザー概観



2-2. Turbo Booster



X線不透過ライン

ガイドワイヤールーメン

光ファイバ